

科目名 (英)	導入教育 (Introductory Education)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 集中
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校で就職指導を長年携わり、学校生活でのクラス内でのコミュニケーション能力の重要性を理解し、コミュニケーション技術を高めることのできる教員が授業を担当。 良いスタートをきるために導入教育の期間に学校生活のルールや資格取得・実習・就職の流れを理解してもらう。休まず出席し、積極的に授業に参加してほしい。							
【到達目標】 ・目指す職業について理解し、卒業後の目標を設定できる ・学校生活を円滑にスタートさせることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 ・配布資料				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 担任・学科スタッフ紹介 在校生ガイダンス 【授業形態】 講義 【到達目標】 医療事務総合学科の1年間の流れを理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 学生便覧の読み合わせと総合支援プログラムに向けて 【授業形態】 講義 【到達目標】 学科の養成目的、教育目標、学則を理解し、答えることができる 総合支援プログラムの目的と役割を理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 総合支援プログラム① 【授業形態】 演習 【到達目標】 他者理解をすることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 総合支援プログラム② 【授業形態】 演習 【到達目標】 他者理解をすることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 総合支援プログラム③ 【授業形態】 演習 【到達目標】 他者理解をすることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 総合支援プログラム④ 【授業形態】 演習 【到達目標】 後期に向けてのスケジュール理解とモチベーションを高める				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 総合支援プログラム⑤ 【授業形態】 演習 【到達目標】 検定後の振り返りと卒業に向けて意識を高める				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 導入教育の振り返り 【授業形態】 演習 【到達目標】 導入研修を振り返り、学校生活を円滑にスタートさせることができる 行事を通して他者理解をすることができる				【評価方法について】 出席状況、提出物、レポートを総合的に勘案して評価する 評価は学則規定に準ずる		
【特記事項】							

科目名 (英)	キャリアデザイン (Career Design)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 木・金曜日 1・2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容と心構え】 中・高の教員免許を有し、高等学校での教員での経験、各種専門学校で就職指導してきた教員が担当する。この授業では、学校生活や実習に向けてのスケジュール確認と自分の目指す目標を明確にすることによって、自分の意思を持って物事を選択できる力を身につける。前期では、実習・就職が中心となる時期となる。自己課題を明確にし、目指す方向に向けて自分の考え方をまとめ人に話す力を身につけてほしい。「明るく・元気に」授業を作っていきます。							
【到達目標】 自分の目指す業界を理解し、そこで即戦力となる人材をイメージし、そのイメージを持って就職活動に挑む準備をする。 履歴書作成・実習を通して自己の課題を明確にする。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・講師作成プリント ・就職活動マニュアル				【授業外における学習】 適宜業界研究は行うこと。自分の希望する病院・クリニックが出てきたら、施設の概要等を下調べすると共に、施設見学に参加する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 オリエンテーション 実習に向けて① 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 実習に向けての履歴書作成ができる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
2	【授業単元】 実習に向けて② 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 実習に向けての履歴書作成ができる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
3	【授業単元】 実習に向けて③ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 実習に向けての気構え・心構えができる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
4	【授業単元】 実習に向けて④ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 実習に向けて目標を明確にする			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
5	【授業単元】 導入教育・就職合同説明会 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 導入教育・就職合同説明会のイメージを掴み、自分の目標を明確にできる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
6	【授業単元】 導入教育・就職合同説明会 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 導入教育・就職合同説明会のイメージを掴み、自分の目標を明確にできる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
7	【授業単元】 夏休みと後期の検定について 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 夏休み明けのスケジュール理解と医師事務作業補助者の検定について			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 試験及び解説 【到達目標】			【評価について】 小テスト(40点満点) 実施方法:出席・課題提出 定期試験(60点満点) 実施方法:レポート提出			
【特記事項】							

科目名 (英)	キャリアデザイン (Career Design)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 中・高の教員免許を有し、高等学校での教員での経験、各種専門学校で就職指導してきた教員が担当する。この授業では、学校生活や実習に向けてのスケジュール確認と自分の目指す目標を明確にすることによって、自分の意思を持って物事を選択できる力を身につける。前期では、実習・就職が中心となる時期となる。自己課題を明確にし、目指す方向に向けて自分の考え方をまとめ人に話す力を身につけてほしい。「明るく・元気に」授業を作っていきます。							
【到達目標】 目指す業界で活動するために必要な社会人マナーを理解し、理想の社会人像を描くことで、自身の目指す現場に向けてのマインドを高める。							
【使用教科書・教材・参考書】 新社会人の基礎力109 Hand-book of Life Style				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
9	【授業単元】 新社会人基礎力① 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 社会人としての基礎を身につけることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
10	【授業単元】 新社会人基礎力② 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 卒業後の社会人像をイメージすることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
11	【授業単元】 新社会人基礎力③ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 組織に属して仕事をする上での決まり事や約束事を理解することができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
12	【授業単元】 新社会人基礎力④ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 自分自身のキャリアパスを考えることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
13	【授業単元】 新社会人基礎力⑤ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 社会人基礎力3つの能力と12の能力要素を理解することができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
14	【授業単元】 新社会人基礎力⑥ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 社会人として遵守すべき規範を知ることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
15	【授業単元】 新社会人基礎力⑦ 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 社会人としての自分を守り高めることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
【授業単元】 定期試験・解説 【授業形態】 試験及び解説 【到達目標】				【評価について】 小テスト(40点満点) 実施方法:ワークシートの提出またはプレゼンテーション 定期試験(60点満点) 実施方法:筆記試験、ワークシートの提出			
【特記事項】							

科目名 (英)	アビリティ (Ability)	必修 選択	選択	年次	2年	担当教員	
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 月曜日 1・2時限
学科・専攻	医療事務総合学科						
【担当教員紹介と授業の学習内容と心構え】 高校の教員免許と臨床心理士、公認心理師の資格を有し、精神科、中学・、高校・大学とスクールカウンセラー経験のある職員が担当する。この授業では、心理学を題材として自己の精神衛生上のマネジメント力の向上や、接客業務においての心理学の活用方法を身に付ける。グループワークも行うので積極的に参加してほしい。							
【到達目標】 自己理解・他者理解を通して、人に接する身構え気構え心構えを身に付けることができる。 心のメカニズムの理解を通して、セルフマネジメントができるようになる。 心の病を持った方々の理解や接し方を理解する。							
【使用教科書・教材・参考書】 ・講師作成プリント				【授業外における学習】 特にありません。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 オリエンテーション 心ってなんだろう① 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 自己理解に関する心理検査を実施する中で自分の特性を理解することができる。また、子どもから大人までの発達の過程を他者に伝えることができる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
2	【授業単元】 心ってなんだろう② 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 自己理解他者理解のワークを通じて、自分の大切にしている価値観に気づけ、他者を大切に思う身構え気構え心構えを身に付けることができる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
3	【授業単元】 ストレスについて① 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ストレスの本質と4つのケアを学び、心のメカニズムについて他者に説明することができる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
4	【授業単元】 ストレスについて② 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 心のメカニズムを知りセルフマネジメント力を向上させ、ワークシートを完成させることができる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
5	【授業単元】 心の病気について① 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 心が病むとどんな病気になるのか障害・症状について理解することができ、テストで合格基準に達することができる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
6	【授業単元】 心の病気について② 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 心の病気にかかった方に対する接し方を学び、3人一組で評価項目を達成することができる。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
7	【授業単元】 アンガーマネジメント 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 アンガーマネジメントを学び、常に一定の気持ちで人に対応できるスキルを身に付ける。			【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】			
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 試験及び解説 【到達目標】 合格基準に達成することができる。			【評価について】 小テスト(40点満点) 実施方法:出席・課題提出 定期試験(60点満点) 実施方法:筆記試験			
【特記事項】							

科目名 (英)	パソコン(応用) (Personal computer)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 火曜日 1時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 滋慶学園グループのコンピュータ関連企業に所属しており、複数の専門学校にて学生へのPC講義や教職員へのPC研修を実施している。 ＜学習内容＞ - 効果的なプレゼンテーション資料を作成できる - AIリテラシーや個人情報を取り扱うための倫理を学び、正しく取り扱う							
【到達目標】 - 効果的なプレゼンテーション資料を作成できる - Word差込印刷機能を活用できる - AIリテラシーや個人情報を取り扱うための倫理を学び、正しく取り扱う							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
滋慶学園グループの学生に必要なスキルに特化した、オリジナルのe-learning(インターネット上のテキスト)を使用				次回講義までに不明な操作をe-learning(インターネット上のテキスト)で確認しておく			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 データリテラシー 【授業形態】 演習 【到達目標】 データを読み解くための基本的な知識を身につけて、適正かつ有効に活用できる			9	【授業単元】 Word 差込印刷 【授業形態】 演習 【到達目標】 WordやExcelで作成したデータをWord文書の指定した位置に差し込んで印刷することができる		
2	【授業単元】 プレゼンテーション基礎1.(設計) 【授業形態】 演習 【到達目標】 何を伝えるかを簡潔に示したスライドの作成の設計ができる			10	【授業単元】 プログラミング入門 【授業形態】 演習 【到達目標】 スクラッチを使ってプログラミングの基礎を学ぶことができる		
3	【授業単元】 プレゼンテーション基礎2.(図解) 【授業形態】 演習 【到達目標】 レイアウト、配色等、デザインに考慮した図解を作成できる			11	【授業単元】 プログラミング体験 【授業形態】 演習 【到達目標】 スクラッチを使って簡単なゲームを作ることができる		
4	【授業単元】 プレゼンテーション基礎3.(表・図表) 【授業形態】 演習 【到達目標】 表の活用・図表の効果的な表現をすることができる			12	【授業単元】 情報倫理(モラル/セキュリティ編) 【授業形態】 演習 【到達目標】 情報化社会のモラルとセキュリティについて正しく理解できる		
5	【授業単元】 プレゼンテーション基礎4.(画像・グラフ) 【授業形態】 演習 【到達目標】 画像とグラフの効果的な活用ができる			13	【授業単元】 情報倫理(ネット編) 【授業形態】 演習 【到達目標】 ネット社会に潜む危険と対策について正しく理解できる		
6	【授業単元】 プレゼンテーション基礎5.(アニメーション) 【授業形態】 演習 【到達目標】 効果的なアニメーション効果の設定について理解し活用できる			14	【授業単元】 情報倫理(モバイル編) 【授業形態】 演習 【到達目標】 モバイル機器の活用と管理について正しく理解できる		
7	【授業単元】 プレゼンテーション試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 プレゼンテーション基礎1-5で習ったことを実践できる			15	【授業単元】 SNSセキュリティ研修+レポート 【授業形態】 演習 【到達目標】 定期試験 SNSセキュリティについて学び、自分の意見をレポートにまとめる事ができる		
8	【授業単元】 プレゼンテーション試験 【授業形態】 演習 【到達目標】 中間試験 PowerPoint資料作成 試験範囲: プレゼンテーション基礎1-5			【評価方法について】 評価は実技試験で行い、授業内で説明した機能の理解、操作の定着度を確認する。中間試験(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	他職種理解 (Another Occupation Understanding)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期
【授業の学習内容と心構え】 中・高の教員免許を有し、高等学校での教員での経験、各種専門学校で就職指導してきた教員が担当する。学生個々が考え希望する進路において、そこで求められる他職種との連携の基本となる他職種理解を深める授業を行う。 この授業の先に目指す現場があることをイメージしながら、その現場で求められると考えられる行動・姿勢を考えて授業に臨んでほしい。							
【到達目標】 活動する現場において、多くの職種の方と連携を取る可能性が考えられる。それぞれの職種を理解することで、自身の対応の幅を広げられるための土台作りを目指す。							
【使用教科書・教材・参考書】 講師作成資料				【授業外における学習】 講義で来て貰える他職種の、業務内容や現場での役割などを事前にリサーチしておくこと。その過程で疑問に思ったことは当日質問できるようにしておくこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 オリエンテーション 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 講義で入る多職種を紹介し、各職種の業務を理解するとともに連携をイメージする。				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 他職種の実際を理解する 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 他職種からの職種説明と連携の可能性について理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 他職種の実際を理解し、自職種につなげる 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 他職種からの職種説明と連携の可能性について理解し、自職種で出来ることを考える				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 他職種の実際を理解する 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 他職種からの職種説明と連携の可能性について理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 他職種の実際を理解し、自職種につなげる 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 他職種からの職種説明と連携の可能性について理解し、自職種で出来ることを考える				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 他職種の実際を理解する 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 他職種からの職種説明と連携の可能性について理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 他職種の実際を理解し、自職種につなげる 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 他職種からの職種説明と連携の可能性について理解し、自職種で出来ることを考える				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 試験及び解説 【到達目標】				【評価について】 小テスト(40点満点) 実施方法:出席・ワークシートの提出 定期試験(60点満点) 実施方法:筆記試験		
【特記事項】							

科目名 (英)	就職対策講座Ⅱ (Measures Employment SeminarⅡ)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 企業における人材育成にも携わり、専門学校や大学で長年にわたって就職指導をしてきた教員が、面接対応力を身につけるための授業を行う 社会人になるという自覚と就職に対する強い意識を持って受講してほしい							
【到達目標】 面接におけるマナーを習得する 面接官の質問の意図を理解し、適切な回答ができる 言語的コミュニケーションだけでなく、非言語的コミュニケーションにおいても高い評価を得ることができる							
【使用教科書・教材・参考書】 プリント資料				【授業外における学習】 多くの社会人と会い、社会人の価値観・ものの見方に触れるようにする 普段から丁寧な言葉遣いとわかりやすい表現の仕方を心がける			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 面接の目的、面接の心構え 【授業形態】 講義 【到達目標】 面接の目的と心構え、面接の種類、評価のポイントを理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 第一印象の重要性・身だしなみ・立ち居振舞い 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 第一印象の重要性について説明できる 面接の流れを知り、面接時の身だしなみと基本動作(挨拶、入退室、立ち方、座り方、立ち上がり方)を身につける				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 個人面接演習 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 「何を話すか」「どう話すか」話し方のポイントについて説明できる 演習後のフィードバックから、自分の強みと改善点を把握し、今後の対策を講じることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 集団面接演習 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 集団面接で評価されるポイントについて説明できる 演習後のフィードバックから、自分の強みと改善点を把握し、今後の対策を講じることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 グループディスカッション演習 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 グループディスカッションの目的と評価のポイントが説明できる グループディスカッションで自分が担った役割を振り返り、自分の強みと改善点を把握し、今後の対策を講じることができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 面接演習 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 面接官役をすることで、採用担当者の視点を理解し、今後に活かすことができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 総合面接演習 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 質問に的確に答えることができる わかりやすく伝えることができる 聞き取りやすい話し方ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】				【評価方法について】 評価は、毎回実施する小テスト(筆記または実技40点分)と定期試験(60点)の合計100点満点で行う 評価は学則規定に準ずる		
【特記事項】							

科目名 (英)	就職対策講座Ⅲ (Measures Employment SeminarⅢ)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 金曜日 2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校で就職対策講座を担当してきた教員が、筆記試験における苦手分野を克服し、自信を持って就職活動に臨めるようにするための授業を行う 社会人になるという自覚と就職に対する強い意識を持って受講してほしい							
【到達目標】 出題傾向を知り、解法パターンを身につける 得意分野と苦手分野を把握し、苦手意識を払拭する							
【使用教科書・教材・参考書】 プリント資料				【授業外における学習】 常に新聞やニュースをチェックする 毎回課題を準備するので、自習することが望ましい			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】面接練習 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 実習に向けての面接を行い課題を見つける			9	【授業単元】SPI・一般常識対策 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法パターンを身につける 得意分野と苦手分野を把握し、苦手意識を払拭する		
2	【授業単元】求人票の見方・医療事務の働き方 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 ・求人票を読み解き、自分で求人票を選択できるようになる。 ・医療事務の職種について説明することができる。			10	【授業単元】SPI・一般常識対策 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法パターンを身につける 得意分野と苦手分野を把握し、苦手意識を払拭する		
3	【授業単元】業界研究・合同説明会に向けて 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 就職説明会に向けて気構え・心構えを実践できるようにする			11	【授業単元】時事問題・小論文 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 時事問題をテーマに小論文が書ける		
4	【授業単元】書類送付状とメールマナー 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 就職に必要なビジネスマナーを理解し、就職に必要な一連作業を自らできるようになる。			12	【授業単元】時事問題・小論文 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 時事問題の情報収集法と勉強法を知る 評価される小論文の書き方のコツについて説明できる 時事問題をテーマに小論文が書ける		
5	【授業単元】履歴書とエントリーシート 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 書類通過ができる履歴書・エントリーシートの作成ができる			13	【授業単元】時事問題・小論文 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 時事問題をテーマに小論文が書ける		
6	【授業単元】時事問題・小論文 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 時事問題をテーマに小論文が書ける			14	【授業単元】総合問題演習 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 わからない問題を洗い出し、何がわからなかったのかを特定する		
7	【授業単元】SPI・一般常識対策 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 出題の傾向を知り、解法パターンを身につける 得意分野と苦手分野を把握し、苦手意識を払拭する			15	【授業単元】定期試験・解答解説 【授業形態】講義 【到達目標】		
8	【授業単元】中間試験 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 就職に必要な基本的な流れを理解し、自分の力で就職に向けて行動できる力がある(求人票の見方・書類の基本)			【評価方法について】 評価は、中間試験(40点分)と定期試験(60点)の合計100点満点で行う 評価は学則規定に準ずる			
【特記事項】							

科目名 (英)	人の体と機能 (Theory of Body Constitution and Functions)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・コース	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	45時間 (3)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 1限
【授業の学習内容と心構え】 看護及び教育学士として大学病院で臨床経験を積み、大手医療機器メーカーにて医療従事者に対しての教育に携わりながら、医療現場の知識と安全向上のため に貢献してきた教員が、1年生で学習した「人の体と機能」と「疾病学」が単眼毎の理解ではなく、双方が結び付けられているかどうかを確認しながら授業を行っ ていく。また、その知識が強固となるよう毎回練習問題を行っていくが、医療秘書技能検定準1級に合格できるようサポートしていく。							
【到達目標】 1年生で習得した体の解剖生理学的知識の理解を十分に深め、各臓器・器官の主な疾病と結び付けることができ、その知識を医療秘書としての業務に役立たせ ることができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 ぜんぶわかる人体解剖図 坂井武雄 他著 成美堂出版 ※各授業毎にプリントを配布				【授業外における学習】 各授業で配布したプリント及び小テストの復習 授業中紹介する映像サイトなどで視聴覚的に復習する			
回	授 業 概 要	回	授 業 概 要				
1	【授業単元】 頭部の構造、脳と脊髄・神経、脳の血管、内分泌機能 【授業形態】 講 義 ・ 練習問題実施 ・ 解答確認 【到達目標】 頭部・脳の解剖生理と役割・機能を十分に理解し、疾患に結びつ けることができる 内分泌機能の解剖生理と役割・機能を十分に理解し、疾患に結びつ けることができる						
2	【授業単元】 心臓の解剖生理とその機能、血管と血液成分 【授業形態】 講 義 ・ 練習問題実施 ・ 解答確認 【到達目標】 心臓及び血管・血液の解剖生理と役割・機能を十分に理解し、疾患 に結びつけることができる						
3	【授業単元】 呼吸器の解剖生理、ガス(酸素と二酸化炭素)交換 【授業形態】 講 義 ・ 練習問題実施 ・ 解答確認 【到達目標】 呼吸器の解剖生理と役割・機能を十分に理解し、疾患に結びつけ ることができる						
4	【授業単元】 消化器系各臓器＋脾臓の解剖生理及び役割・機能 【授業形態】 講 義 ・ 練習問題実施 ・ 解答確認 【到達目標】 消化器系各臓器の解剖生理と役割・機能を十分に理解し、疾患に結 びつけることができる						
5	【授業単元】 腎臓を含む泌尿器・生殖器系の解剖生理と役割・機能 【授業形態】 講 義 ・ 練習問題実施 ・ 解答確認 【到達目標】 腎臓・泌尿器・生殖器の解剖生理と役割・機能を十分に理解し、疾患 に結びつけることができる						
6	【授業単元】 感覚器系の解剖生理と役割・機能 【授業形態】 講 義 ・ 練習問題実施 ・ 解答確認 【到達目標】 感覚器系の解剖生理と役割・機能を十分に理解し、疾患に結びつけ ることができる						
7	【授業単元】 基礎医学及び検査、医療英語と医療英略語 【授業形態】 講 義 ・ 練習問題実施 ・ 解答確認 【到達目標】 基礎医学及びその周辺に関する知識を再確認する			・第7講の基礎医学は広範囲にわたり、内容・問題数も多いため、第1～6講で 時間がある場合は随時この領域を進めていく。			
8	【授業単元】 定期試験 (60点満点) 【授業形態】 筆記試験			【評価について】 評価は小テストと定期試験で行う。・小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計1 00点満点で評価する。・小テスト、定期試験共に筆記試験を行う。 ・小テストは、第1回～6回授業の各回最後に計6回行う。 ・評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 授業内容は秘書検定等に役立つ内容となっており、各授業毎に配布するプリン トに必ず重要事項を記入すること。							

科目名 (英)	カルテ読解	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
	(Reading Medical Records)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 2時限
学科・コース	医療事務総合学科						
【授業の学習内容と心構え】 欠席をしないことが基本となる。 診療情報管理士として17年間、大学病院、特定機能病院に勤務し、診療記録の監査、傷病名のコーディング、医療統計等の業務に携わり、専門学校教員として各学校で診療情報管理科の科目及び医療系学科で複数の科目を担当してきた講師が授業を担当する。本授業では、正確にカルテを読解できるよう指導する。カルテを読解するために、臨床医学知識、手術や検査の内容、医療用語、略語に至るまで、幅広い授業内容となる。							
【到達目標】 臨床医学なども含め、正確にカルテを読解できること(主傷病名、副傷病名、主の医療行為、副医療行為などの選択)を目標とする。 チーム医療の中の役割の一つとして、カルテの監査を出来るようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 診療情報管理Ⅳ(専門・分類法編)第8版(講師作成プリントで対応)				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】感染症および寄生虫症 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 感染症および寄生虫症の理解 細菌感染、ウイルス感染、伴う合併症などについて理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 新生物 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 日本の死因第1位である新生物について理解する 悪性、良性、上皮内、性状不詳および新生物の組織形態についても理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 血液および造血器、免疫機構の障害 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 紫斑病などの血液疾患や遺伝性の血液疾患等について理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 内分泌、栄養および代謝疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 糖尿病および糖尿病の合併症、甲状腺疾患等について理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 神経系の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 ギラン・バレー症候群や睡眠時無呼吸等の神経系の疾患を理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 眼および付属器の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 眼疾患の代表ともいえる白内障や斜視等の眼疾患について理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 耳および乳様突起の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 難聴や中耳炎など、耳鼻咽喉科でよく見られる疾患について理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】定期試験、解答解説 【授業形態】定期試験 【到達目標】 定期試験				【評価について】 評価は筆記試験で行う。小テストを40点とし定期試験を60点、合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	電子カルテⅠ (Electronic Karte)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、医師事務作業補助者として必要な電子カルテシステムの知識と操作技術を習得するための授業を行う。電子カルテⅠは、主に医師事務作業補助者実務能力認定試験の学科対策を目的とするが、講義だけでなく、システムの基本操作の演習を通して実践的に身に付けていく。ドクターズクランク、医療情報の2科目と併せて医師事務作業補助実務能力認定試験の合格を目指す。							
【到達目標】 電子カルテシステムの法的要件が理解できる。 電子カルテシステムの操作を通して、全体像と基本機能が理解できる。 SOAP形式による診療録の入力ができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 参考書：『医師事務作業補助者実務能力認定試験公式テキストⅢ』（全国医療福祉教育協会） ※配布プリントを使用				【授業外における学習】 システムの操作に不安がある場合は、オープン教室等を利用して練習をすること			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 電子カルテの全体像と機能 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・電子カルテシステムの全体像と機能が理解できる ・権限設定、新患登録、受付操作ができる ・問診票の入力、SOAP、シエマ、病名登録ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 代行入力と承認 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・診療内容の入力ができる ・医事会計処理、D○操作、カルテ表示・印刷ができる ・代行入力者による電子カルテ作成と承認操作ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 オーダー処理 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・検査及び画像診断のオーダー処理ができる ・各部門における受付・報告処理の操作ができる ・カルテ画面での確認(結果貼り付け)操作ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 確定操作、文書作成 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・確定保存及び確定操作の機能を理解し、操作ができる ・電子カルテシステムで院外処方箋の作成ができる ・電子カルテシステムで紹介状の作成ができる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 電子カルテシステムの法的要件等 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・電子保存の3原則を列挙できる ・電子カルテシステムのメリット・デメリットを列挙できる ・電子カルテシステムの安全管理対策が理解できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 医師事務認定試験対策 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・医師事務作業補助者実務能力認定試験(学科問題)の出題傾向を掴む				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 医師事務認定試験対策 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・医師事務作業補助者実務能力認定試験(学科問題)の出題傾向を掴む				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 【到達目標】				【評価方法について】 ・課題提出(30点)、小テスト(10点)、定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 ・課題提出は3種類、小テストは第5回に筆記試験で行う。 ・定期試験は筆記試験及び実技試験で行う。 ・授業で習得した専門的な知識・技術の理解度、定着度を確認する。 ・評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	電子カルテⅡ (Electronic Karte Practice)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	IT医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	水曜日 3・4時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、医療現場における電子カルテの基本的な知識を習得する授業を行う。							
【到達目標】 電子カルテシステムの概要・入力操作を学び、電子カルテ技能検定試験合格を目標とする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 授業で習得した内容を操作テキストで復習しておくこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 入力操作 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 電子カルテシステムの概要・機能を説明できる 2. 電子カルテシステムの入力ができる 権限設定、患者登録、問診票、SOAP、シェーマ			9	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第20回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる		
2	【授業単元】 入力操作 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 電子カルテシステムの入力ができる 診療内容の入力、Do機能、会計処理 2. 外来患者（診療所）の電子カルテが作成できる			10	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第22回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる		
3	【授業単元】 オーダー機能 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 外来患者（病院）における電子カルテの作成ができる。 2. オーダリング機能の入力ができる。 エックス線（単純・造影剤使用）撮影、内視鏡検査、処方			11	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第23回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる		
4	【授業単元】 オーダー機能 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 外来患者（病院）の電子カルテが作成できる			12	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第24回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる		
5	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第16回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる			13	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第25回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる		
6	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第17回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる			14	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第26回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる		
7	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第18回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる			15	【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 【到達目標】 ・定期試験		
8	【授業単元】 検定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 1. 第19回電子カルテ実技検定試験問題の入力ができる			【評価方法について】 評価は、演習試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を 確認する。演習試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計 100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	医療情報 (Medical information)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、医師事務作業補助者として診療録の記載や文書作成の際に必要なとされる医療情報に関する知識を習得するための授業を行う。 ドクターズワーク、電子カルテⅠの2科目と併せて医師事務作業補助者実務能力認定試験の合格を目指す。 また、後期に受験予定の医療情報基礎知識検定の出題範囲であることも意識して受講してほしい。							
【到達目標】 診療録の法的要件が理解できる。 POMR(問題指向型診療記録)の構成を理解し、SOAP形式に従って経過記録が整理できる。 医療安全管理と個人情報保護法の概要が理解できる。							
【使用教科書・教材・参考書】 参考書:『医師事務作業補助者実務能力認定試験公式テキストⅢ』(全国医療福祉教育協会) ※配布プリントを使用				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 医療安全管理 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・医療事故と医療過誤の違いを説明できる ・医療安全に関する法的根拠を理解できる ・医療安全管理体制の基準を理解できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 個人情報保護法 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・個人情報保護法の概要が理解できる ・医療・介護事業者のためのガイダンスの内容を理解できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 診療記録 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・診療録の記載と保存に関する法的要件が理解できる ・診療録の様式が理解できる ・診療録の書き方の原則と留意事項が理解できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 POMR(問題指向型診療記録) 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・POMR(問題指向型診療記録)の構成が理解できる ・SOAP形式による経過記録が理解できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 SOAP形式による経過記録 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・診療録の経過記録をSOAP形式に従って分類できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 医師事務認定試験対策 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・医師事務作業補助者実務能力認定試験(実技問題)の出題傾向を掴む				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 医師事務認定試験対策 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・医師事務作業補助者実務能力認定試験(学科問題)の出題傾向を掴む				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】				【評価方法について】 ・小テスト(40点)、定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 ・小テスト及び定期試験は筆記試験で行う。 ・授業で習得した専門的な知識の理解度、定着度を確認する。 ・小テストは、第1回～第5回の計5回実施する。 ・評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	コーディング (Cording)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・コース	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 1時限
【授業の学習内容と心構え】 欠席をしないことが基本となる。 診療情報管理士として17年間、大学病院、特定機能病院に勤務し、診療記録の監査、傷病名のコーディング、医療統計等の業務に携わる。また、専門学校教員として各学校で診療情報管理士の科目及び医療系学科で複数の科目を担当してきた講師が授業を担当する。本授業では、死亡診断書による原死因の選択や、主傷病名選択等を指導する。また、がん登録の基本となるICD-Oの基本体系についても網羅する幅広い授業内容となる。							
【到達目標】 原死因選択はルールが複雑なため、時間を割いて学び、正確に原死因を選択できることを目標とする。各病院で出す原死因統計が日本の死因の順位を決めることになるため、難しくてトライすること。がん登録も、昨今の病院では当たり前になった。そのためにICD-Oのルールをしっかりと身につけることを目標とする。							
【使用教科書・教材・参考書】 講師作成プリント				【授業外における学習】 自宅学習(プリントの復習)			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】国際疾病分類(ICD)とわが国での利用 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 疾病分類とその意義を理解する。 国際疾病分類(ICD)の使用目的やわが国の人口動態統計を理解する 国際疾病分類(ICD)を利用した統計分類表について理解する				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】「国際疾病分類」誕生までの経緯 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 疾病統計についての歴史を理解する 第1回国際改訂会議から第10回国際改訂会議までの内容の理解 新しい概念(ファミリー)の理解				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 第10回改訂国際疾病分類(ICD-10)の現状 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 大改正、小改正の内容の理解 WHO国際疾病分類(FIC)ネットワークの理解 ICD-10編さんの基準(分類項目の形態・分類の軸・3巻構成) ICD-10の普遍性				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】「ICD-10」を取り巻く国際疾病分類群「ファミリー」 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 関連分類、中心分類、派生分類の理解 「ICF」「ICD-O」の構造の理解 ICD-10とICD-Oの相違の理解 主要病態の選択ルールの理解				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】原死因の選択ルール 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 原死因の定義、死亡診断書の意義、記載上の留意点の理解 原死因の選択ルールおよび修正ルールの使用手順の理解 原死因選択練習問題				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】国際疾病分類(ICD)の実際の利用 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 全3巻構成による「ICD-10」の理解 「内用例示表」と「索引表」の使用手続の理解 複数病態分類、複合病態分類および二重分類の理解				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】「内用例辞表」および「索引表」の役割 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 「内用例示表」「索引表」で用いられる表示記号と符合 国際疾病分類(ICD-10)の使用上の注意点と問題の理解 一貫性のあるコーディング・正確なコーディング・完全性の高いコーディング(副傷病名・併存症・合併症)の理解				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】定期試験、解答解説 【授業形態】定期試験 【到達目標】 定期試験				【評価について】 評価は筆記試験で行う。小テストを40点とし定期試験を60点、合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	病院経営とマネジメント (Company and management)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 金曜日 1・2時限
【授業の学習内容と心構え】 都内の病院で長く医事・経営企画を担当した経験から、医療経営の事例を用いて病院運営の基礎についての授業を行う。 社会全体から病院を取り巻く環境、細かな事象を知り、その意味を正しく理解する。							
【到達目標】 医療事務職員として病院の経営・背景を知り理解する							
【使用教科書・教材・参考書】 各回スライドと資料を配布する 電卓を使用することがある				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要	回	授 業 概 要				
1	【授業単元】 診療報酬のしくみ 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・オリエンテーション(授業の進め方、全体構成について) ・病院の収入源である診療報酬のあり方について正しく理解する	9	【授業単元】 医療機関の経営難、経営改善の5つの方策 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・病院の経営状況を把握する ・小テスト4				
2	【授業単元】 外来診療報酬 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・外来の診療報酬ならびに地域連携の概要について理解する	10	【授業単元】 病院の人件費のしくみ、在院日数短縮の影響 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・病院の収支の仕組みを理解する ・平均在院日数など病院統計について理解する				
3	【授業単元】 入院基本料① 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・病院の主たる財源である入院基本料について正しく理解する ・小テスト1	11	【授業単元】 入院の収支、看護配置について 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・入院収入の背景にあるものを理解する ・小テスト5				
4	【授業単元】 入院基本料② 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・施設基準、特に看護配置について概要を確認する	12	【授業単元】 病床の捉え方・数え方、薬剤利益のしくみ 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・病院の財務、会計を理解する。				
5	【授業単元】 DPC制度 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・急性期病院の主たる収入源であるDPC制度及びDPCを用いた経営分析について理解する ・小テスト2	13	【授業単元】 財務諸表、経済・経営の基礎用語 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・財務諸表、会計、経済・経営の用語について理解する ・小テスト6				
6	【授業単元】 行政・第三者機関との関わり 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・指導監査、審査機関などとの関わりについて理解する。	14	【授業単元】 病院経営分析 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・原価計算、定例的な様々な病院指標について理解する。				
7	【授業単元】 医療情報・デジタル化の波 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・システム監査、内部統制について理解する ・現状の医療情報、これからの病院におけるデジタル化について知識を深める ・小テスト3	15	【授業単元】 定期試験、解説 【授業形態】 講義 【到達目標】				
8	【授業単元】 社会保障費の増大、将来人口推計と深刻な課題 【授業形態】 講義 【到達目標】 ・日本の医療を取りまく状況を理解する。	【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度を確認する。筆記試験では、小テスト6回(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規程に準ずる。					
【特記事項】 電卓(スマホの機能でも可能)を使うことがあるので、持参してもらうことがある							

科目名 (英)	介護保険・介護レセプト (Long-term care insurance・Nursing Care compensation)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日3・4時限
【授業の学習内容と心構え】 専門学校において10年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、介護保険制度における基本的な知識を習得する授業を行う。							
【到達目標】 1. 介護保険制度のしくみについての知識を習得する。 2. 介護報酬請求事務についての知識を習得し、介護レセプトを作成する。							
【使用教科書・教材・参考書】 『ケアマネジャー・ケアクラークのための介護サービスコード表』(caps)				【授業外における学習】 授業で習得した内容を復習しておくこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 介護保険制度 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護保険制度の内容について説明できる 制度の歴史、制度のしくみ、保険者と被保険者、認定			9	【授業単元】 地域密着型サービスの単位数算定 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護サービス（地域密着型サービス）の単位数算定ができる		
2	【授業単元】 介護保険制度 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護保険制度の内容について説明できる 制度の歴史、制度のしくみ、保険者と被保険者、認定			10	【授業単元】 地域密着型サービスの単位数算定 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護サービス（地域密着型サービス）の単位数算定ができる		
3	【授業単元】 居宅サービスの種類 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護サービス（居宅サービス）の種類と内容について説明できる			11	【授業単元】 単位数算定演習 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護サービス（居宅サービス、地域密着型サービス）の算定ができるようになる		
4	【授業単元】 居宅サービスの種類 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護サービス（居宅サービス）の種類と内容について説明できる			12	【授業単元】 単位数算定演習 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護サービス（居宅サービス、地域密着型サービス）の算定ができるようになる		
5	【授業単元】 居宅サービスの単位数算定 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護サービス（居宅サービス）の単位数算定ができる			13	【授業単元】 保険請求額、利用者負担額の計算 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. ケアプランとサービス利用票から居宅サービス介護給付費明細書を作成する		
6	【授業単元】 居宅サービスの単位数算定 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護サービス（居宅サービス）の単位数算定ができる			14	【授業単元】 保険請求額、利用者負担額の計算 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. ケアプランとサービス利用票から居宅サービス介護給付費明細書を作成する		
7	【授業単元】 居宅サービスの単位数算定 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護サービス（居宅サービス）の単位数算定ができる			15	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 定期試験		
8	【授業単元】 居宅サービスの単位数算定 【授業形態】 講義 【到達目標】 1. 介護サービス（居宅サービス）の単位数算定ができる			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	ドクターズクラーク (Secretary Doctor)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 4時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、医師事務作業補助者として必要な知識と技術を習得するための授業を行う。 医師事務作業補助者の背景や役割を知り、業務の中心となる文書作成の演習を通して、各種文書の目的や運用方法について学習していく。医療情報、電子カルテⅠの2科目と併せて医師事務作業補助実務能力認定試験の合格を目指す。							
【到達目標】 医師事務作業補助者の役割と業務内容が理解できる。 医師事務作業補助者が扱う様々な文書の使用目的、運用方法、記載方法が理解できる。 診療録をもとに各種文書の作成ができる。 医師事務作業補助者実務能力認定試験に合格する。							
【使用教科書・教材・参考書】 参考書:『医師事務作業補助者実務能力認定試験公式テキストⅢ』(全国医療福祉教育協会) ※配布プリントを使用				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 医師事務作業補助者とは、診断書 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医師事務作業補助者の背景や役割が説明できる ・診断書の目的と運用方法が理解できる ・診断書が作成できる			9	【授業単元】 主治医意見書 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・主治医意見書の目的と運用方法が理解できる ・主治医意見書が作成できる		
2	【授業単元】 紹介状(診療情報提供書)と返書 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・紹介状と返書の目的と運用方法が理解できる ・紹介状と返書が作成できる			10	【授業単元】 死亡診断書、出生証明書 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・死亡診断書の目的と運用方法が理解できる ・死亡診断書が作成できる ・出生証明書の目的と運用方法が理解できる		
3	【授業単元】 院外処方箋 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・院外処方箋の目的と運用方法が理解できる ・院外処方箋が作成できる			11	【授業単元】 その他の文書 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・自賠責保険診断書 ・労災休業補償給付支給申請書		
4	【授業単元】 医師事務作業補助体制加算 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医師事務作業補助体制加算の施設基準が理解できる ・医師事務作業補助者の業務内容を説明できる			12	【授業単元】 医師事務認定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医師事務作業補助者実務能力認定試験(学科問題)の出題傾向を掴む		
5	【授業単元】 入院診療計画書、入院手術証明書 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・入院診療計画書の目的と運用方法が理解できる ・入院手術証明書の目的と運用方法が理解できる ・入院手術証明書が作成できる			13	【授業単元】 医師事務認定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医師事務作業補助者実務能力認定試験(実技問題)の出題傾向を掴む		
6	【授業単元】 退院証明書、退院サマリー 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・退院証明書の目的と運用方法が理解できる ・退院サマリーの目的と運用方法が理解できる ・退院証明書が作成できる			14	【授業単元】 医師事務認定試験対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医師事務作業補助者実務能力認定試験(実技問題)の出題傾向を掴む		
7	【授業単元】 傷病手当金意見書 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・傷病手当金意見書の目的と運用方法が理解できる ・傷病手当金意見書が作成できる			15	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】		
8	【授業単元】 医療要否意見書 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医療要否意見書の目的と運用方法が理解できる ・医療要否意見書が作成できる			【評価方法について】 ・課題提出(20点)、小テスト(20点)、定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 ・小テスト及び定期試験は筆記試験で行う。 ・授業で習得した専門的な知識・技術の理解度、定着度を確認する。 ・課題提出は8種類、小テストは第4回と第12回に計2回実施する。 ・評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	レセプトコンピュータⅡ (Medical-Affairs Computer)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分	前期 曜日・時間 金曜日 4時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、医事コンピュータの基礎知識と操作技術を得得するための授業を行う。前半は、公費負担医療等、検定には出題されないが実務において重要な症例のレセプト作成について学習する。後半は、医事コンピュータ技能検定試験準1級の問題を使用し、複雑な入院症例からの出来高及びDPCLレセプト作成について学習する。レセプト演習及びDPC演習での学習内容を踏まえ、より正確な知識と技術の向上を目指してほしい。							
【到達目標】 様々な症例(外来・入院)に対応し、レセプト作成できる知識と技術を得得する。 公費負担医療のレセプト作成ができる知識と技術を得得する。 医事コンピュータ技能検定試験準1級(領域Ⅲ)の合格基準を超える解答ができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社)、『《医科》カルテ例題集』(ケアアンドコミュニケーション)、医事コンピュータ技能検定試験準1級過去問題(プリント)				【授業外における学習】 演習課題の復習をし、理解を定着させること 操作に不安がある場合は、オープン教室等を利用して練習すること			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 入院症例 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・短期滞在手術等基本料のレセプト作成ができる			9	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定準1級(領域Ⅲ)対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・複雑な入院症例から出来高レセプトが作成できる ・出来高レセプトからDPCレセプトが作成できる		
2	【授業単元】 外来症例 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・人工腎臓のレセプト作成ができる ・特記事項・自己負担金額の確認ができる			10	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定準1級(領域Ⅲ)対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・複雑な入院症例から出来高レセプトが作成できる ・出来高レセプトからDPCレセプトが作成できる		
3	【授業単元】 外来症例 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・精神科の症例のレセプト作成ができる ・在宅医療の症例のレセプト作成ができる			11	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定準1級(領域Ⅲ)対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・複雑な入院症例から出来高レセプトが作成できる ・出来高レセプトからDPCレセプトが作成できる		
4	【授業単元】 公費負担医療 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・生活保護法の症例のレセプト作成ができる			12	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定準1級(領域Ⅲ)対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・複雑な入院症例から出来高レセプトが作成できる ・出来高レセプトからDPCレセプトが作成できる		
5	【授業単元】 公費負担医療 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・感染症法の症例のレセプト作成ができる			13	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定準1級(領域Ⅲ)対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・複雑な入院症例から出来高レセプトが作成できる ・出来高レセプトからDPCレセプトが作成できる		
6	【授業単元】 入院症例 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・基礎的な入院症例から出来高レセプトが作成できる ・出来高レセプトからDPCレセプトが作成できる			14	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定準1級(領域Ⅲ)対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・複雑な入院症例から出来高レセプトが作成できる ・出来高レセプトからDPCレセプトが作成できる		
7	【授業単元】 入院症例 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・基礎的な入院症例から出来高レセプトが作成できる ・出来高レセプトからDPCレセプトが作成できる			15	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】		
8	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定準1級(領域Ⅲ)対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・複雑な入院症例から出来高レセプトが作成できる ・出来高レセプトからDPCレセプトが作成できる			【評価方法について】 ・課題提出(20点)、小テスト(20点)、定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 ・小テストは筆記試験、定期試験は実技試験で行う。 ・授業で習得した専門的な知識・技術の理解度、定着度を確認する。 ・課題提出は2種類、小テストは計3回実施する。 ・評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 1年次で配布したプリント(早見表)を継続して使用する							

科目名 (英)	レセプト演習Ⅱ (Medical Examination and Treatment Reward Request Office Work Practice)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分	前期 曜日・時間 水曜日・金曜日 3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、診療報酬算定業務を正確に行う知識と技術を習得するための授業を行う。演習内容は、医療秘書技能検定試験準1級を中心として行うが、診療報酬請求事務能力認定試験や医事コンピュータ技能検定試験にも共通する知識、技術となる。1年次に引き続き、毎回の授業ノート、プリント類のファイリングを丁寧に行い、常に復習・練習しやすい準備を整えて授業に臨んで欲しい。							
【到達目標】 医科点数早見表の告示・通知の内容を正しく理解し、学科問題に正答できる。 やや複雑な入院症例から正確なレセプト作成ができる。 医療秘書技能検定試験準1級(領域Ⅲ)の合格基準を超える解答ができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』(医学通信社) 医療秘書技能検定試験準1級過去問題(プリント)				【授業外における学習】 演習課題の復習をし、理解を定着させること			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 診療報酬点数改定について 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・点数改定のポイントを理解する			9	【授業単元】 時間加算に関する症例 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・時間加算の基本的な算定ができる ・時間加算の特例に関する算定ができる		
2	【授業単元】 核医学診断に関する症例 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・核医学診断の算定ができる ・病理診断の算定ができる			10	【授業単元】 年齢加算に関する症例 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・年齢に関する加算を算定できる		
3	【授業単元】 特定入院料とは 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・特定入院料の種類を理解する ・特定入院料の一般的事項を理解する			11	【授業単元】 手術・手術後に関する症例 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・手術前・手術後医学管理料の算定ができる		
4	【授業単元】 特定入院料の算定 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・特定集中治療室(ICU)の算定ができる			12	【授業単元】 複数手術に関する症例 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・複数手術に関する算定ができる ・複数区分の麻酔に関する算定ができる		
5	【授業単元】 特定入院料の算定 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・ハイケアユニット入院医療管理料(HCU)の算定ができる			13	【授業単元】 外泊に関する症例 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・外泊の算定ができる		
6	【授業単元】 特定入院料の算定 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・ハイケアユニット入院医療管理料(HCU)の算定ができる			14	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】		
7	【授業単元】 特定入院料の算定 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・地域包括ケア病棟の算定ができる			15	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定準1級(領域Ⅰ)対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定準1級(領域Ⅰ)の出題傾向を掴む		
8	【授業単元】 特定入院料の算定 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・地域包括ケア病棟の算定ができる			【評価方法について】 ・小テスト(40点)、定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 ・小テスト及び定期試験は筆記試験で行う。 ・授業で習得した専門的な知識・技術の理解度、定着度を確認する。 ・小テストは、計4回実施する。 ・評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 1年次で配布したプリント(早見表)を継続して使用する 毎回電卓を準備すること							

科目名 (英)	レセプト演習Ⅱ (Medical Examination and Treatment Reward Request Office Work Practice)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60時間 (4)	開講区分	後期 曜日・時間 水曜日・3時限 金曜日・4時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、診療報酬算定業務を正確に行う知識と技術を習得するための授業を行う。前半は、1年次から学習してきた診療報酬算定の知識と技術を応用し、レセプト点検業務について学習する。後半は公費負担や労災保険、自賠責保険など、様々なレセプト作成について学習する。1年次に引き続き、毎回の授業ノート、プリント類のファイリングを丁寧に行い、常に復習・練習しやすい準備を整えて授業に臨んで欲しい。							
【到達目標】 医科診療点数早見表及び療養担当規則に基づくレセプト点検ができる。 公費負担医療のレセプト作成ができる。 労災保険、自賠責保険のレセプト作成ができる。							
【使用教科書・教材・参考書】 『診療点数早見表』（医学通信社）				【授業外における学習】 演習課題の復習をし、理解を定着させること			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
16	【授業単元】 レセプト点検 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・レセプト審査のしくみと流れが理解できる ・初再診料の点検ができる ・病名整理ができる			24	【授業単元】 公費負担レセプト 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・難病法（指定難病）のレセプトが作成できる		
17	【授業単元】 レセプト点検 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・症状詳記のポイントが理解できる ・医学管理等の点検ができる ・投薬・注射の点検ができる			25	【授業単元】 労災レセプト 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・労災診療費算定基準が理解できる ・労災レセプトが作成できる		
18	【授業単元】 レセプト点検 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・投薬・注射の点検ができる ・力価計算ができる			26	【授業単元】 労災レセプト 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・労災診療費算定基準が理解できる ・労災レセプトが作成できる		
19	【授業単元】 レセプト点検 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・処置・手術の点検ができる ・検査・画像診断の点検ができる			27	【授業単元】 労災レセプト 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・労災診療費算定基準が理解できる ・労災レセプトが作成できる		
20	【授業単元】 レセプト点検 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・外来症例の点検ができる			28	【授業単元】 自賠責レセプト 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・自賠責診療費算定基準が理解できる ・自賠責レセプトが作成できる		
21	【授業単元】 レセプト点検 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・入院症例の点検ができる			29	【授業単元】 自賠責レセプト 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・自賠責診療費算定基準が理解できる ・自賠責レセプトが作成できる		
22	【授業単元】 公費負担レセプト 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・生活保護法（医療扶助）のレセプトが作成できる			30	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】		
23	【授業単元】 公費負担レセプト 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・感染症法（適正医療）のレセプトが作成できる			【評価方法について】 ・小テスト（40点）、定期試験（60点）の合計100点満点で評価する。 ・小テスト及び定期試験は筆記試験で行う。 ・授業で習得した専門的な知識・技術の理解度、定着度を確認する。 ・小テストは、計4回実施する。 ・評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 1年次で配布したプリント（早見表）を継続して使用する 毎回電卓を準備すること							

科目名 (英)	調剤レセプト演習 (Dispensing receipt)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期
【授業の学習内容と心構え】 専門学校において15年以上の教員経験があり、医療現場の経験を有する教員が、調剤報酬請求事務における基本的な知識を習得する授業を行う。							
【到達目標】 1. 調剤報酬に関する知識を習得する。 2. 処方箋の内容を理解し、調剤報酬レセプトを作成する。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】 授業で習得した内容を復習しておくこと。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 保険薬局の基礎知識 【授業形態】 講義、演習 【到達目標】 1. 保険薬局とは何か説明できる 2. 保険薬局業務の流れを説明できる			9	【授業単元】 薬学管理料 【授業形態】 講義、演習 【到達目標】 1. 薬学管理料を理解し、算定要件から正しい算定ができる		
2	【授業単元】 医薬品の基礎知識 【授業形態】 講義、演習 【到達目標】 1. 医薬品の定義と分類について説明できる 2. 医薬品の剤形と種類について説明できる			10	【授業単元】 薬学管理料 【授業形態】 講義、演習 【到達目標】 1. 薬学管理料を理解し、算定要件から正しい算定ができる		
3	【授業単元】 処方箋の見方 【授業形態】 講義、演習 【到達目標】 1. 処方箋の内容について説明できる			11	【授業単元】 レセプト作成 【授業形態】 講義、演習 【到達目標】 1. 処方箋の内容から調剤レセプトを作成する		
4	【授業単元】 調剤報酬の算定 【授業形態】 講義、演習 【到達目標】 1. 調剤報酬の算定について説明できる 2. 薬価と薬価基準について説明できる			12	【授業単元】 レセプト作成 【授業形態】 講義、演習 【到達目標】 1. 処方箋の内容から調剤レセプトを作成する		
5	【授業単元】 調剤基本料 【授業形態】 講義、演習 【到達目標】 1. 調剤基本料を理解し、算定要件から正しい算定ができる			13	【授業単元】 レセプト作成 【授業形態】 講義、演習 【到達目標】 1. 処方箋の内容から調剤レセプトを作成する		
6	【授業単元】 調剤基本料 【授業形態】 講義、演習 【到達目標】 1. 調剤基本料を理解し、算定要件から正しい算定ができる			14	【授業単元】 レセプト作成 【授業形態】 講義、演習 【到達目標】 1. 処方箋の内容から調剤レセプトを作成する		
7	【授業単元】 薬剤調製料、調剤管理料 【授業形態】 講義、演習 【到達目標】 1. 薬剤調製料、調剤管理料を理解し、算定要件から正しい算定ができる			15	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 講義、演習 【到達目標】 1. 定期試験		
8	【授業単元】 薬剤調製料、調剤管理料 【授業形態】 講義、演習 【到達目標】 1. 薬剤調製料、調剤管理料を理解し、算定要件から正しい算定ができる			【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	DPC演習 (DPC Practice)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 水曜日 3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、DPCによる包括評価制度の概要と算定の実務を習得するための授業を行う。個別出来高評価の知識やICDコーディングの知識等を必要とする複雑な制度であるが、演習を通して基本的な知識をわかりやすく解説する。急性期病院を目指す学生にとっては必須となる知識と技術であるという意識をもって取り組んで欲しい。							
【到達目標】 DPC包括評価制度の概要が理解できる。 DPC包括評価部分の算定及びDPCレセプトの記載ができる。 DPCソフトを使用し、DPCレセプトが作成できる。							
【使用教科書・教材・参考書】 『DPCの理解と演習』(ケアアンドコミュニケーション) 参考書:『DPC点数早見表』(医学通信社) ※配布プリントを使用				【授業外における学習】 演習課題の復習をし、理解を定着させること			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 DPC制度の概要 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・DPCとDPC／PDPSの違いを説明できる ・DPC対象病院とDPC対象患者を区別できる ・樹形図の見方がわかる			9	【授業単元】 DPCソフトによるレセプト作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・DPCソフトを使用して、DPCレセプト作成ができる		
2	【授業単元】 DPCの算定方法 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・ホスピタルフィーとドクターフィーを区別できる ・診断群分類点数表の見方がわかる ・包括評価部分の算定ができる			10	【授業単元】 診療報酬明細書の記載要領 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・記載要領に従ってDPCレセプトが作成できる		
3	【授業単元】 診断群分類の構成 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・主要診断群(MDC)とは何か説明できる ・診断群分類14桁の構成を説明できる ・包括評価部分(1月)の算定ができる			11	【授業単元】 請求のパターン 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・包括評価部分の請求のパターンを説明できる ・診断群分類が途中で変更になった場合の調整ができる		
4	【授業単元】 包括評価部分の算定 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・包括評価部分の算定(複数月)ができる			12	【授業単元】 請求のパターン 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・7日以内再入院時の取扱いが理解できる ・診断群分類が途中で変更になった場合の調整ができる		
5	【授業単元】 入院期間別点数 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・入院期間別点数の考え方が理解できる ・包括評価部分の算定(複数月)ができる			13	【授業単元】 DPC調査提出データの概要 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・提出データの内容と様式の種類を区別できる		
6	【授業単元】 DPCレセプト作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・DPCレセプトの作成ができる			14	【授業単元】 医事コンピュータ技能検定準1級(領域Ⅲ)対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・医事コンピュータ技能検定試験準1級(領域Ⅰ)のDPCに関する問題に解答できる		
7	【授業単元】 DPCソフトによるレセプト作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・DPCソフトを使用して、DPCレセプト作成ができる			15	【授業単元】 定期試験、解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】		
8	【授業単元】 DPCソフトによるレセプト作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・DPCソフトを使用して、DPCレセプト作成ができる			【評価方法について】 ・小テスト(40点)、定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 ・小テストは筆記試験及び実技試験、定期試験は筆記試験で行う。 ・授業で習得した専門的な知識・技術の理解度、定着度を確認する。 ・小テストは筆記試験7回、実技試験1回の計8回実施する。 ・評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】 毎回電卓を準備すること							

科目名 (英)	分類法演習 (Taxonomy Lab)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・コース	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 2時限
【授業の学習内容と心構え】 欠席をしないことが基本である。 診療情報管理士、CCS(クリニカルコーディングスペシャリスト)の資格を持ち大学病院等で17年間勤務した教員が、ICD-10を使用して傷病名等を正確に分類できるよう指導する。昨今のDPCにも対応できるようICD分類の体系とコードを、わかりやすく指導する。							
【到達目標】 ICDコードの体系を知り、感染症から耳および乳様突起の疾患まで正確に分類できるようになることを目標にする。							
【使用教科書・教材・参考書】 診療情報管理Ⅳ(講師作成プリントで対応)				【授業外における学習】 自宅学習(復習)			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】感染症および寄生虫症 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類			9	【授業単元】呼吸器系の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類		
2	【授業単元】新生物 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類			10	【授業単元】消化器系の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類		
3	【授業単元】血液および造血系の疾患 並びに免疫機構の障害 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類			11	【授業単元】皮膚および皮下組織の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類		
4	【授業単元】内分泌栄養および代謝疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類			12	【授業単元】筋骨格系及び結合組織の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類		
5	【授業単元】神経系の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類			13	【授業単元】腎尿路生殖器系の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類		
6	【授業単元】眼および付属器の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類			14	【授業単元】妊娠・分娩及び産褥 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類		
7	【授業単元】耳および乳様突起の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類			15	【授業単元】定期試験・解答解説 【授業形態】定期試験 【到達目標】 定期試験・解答解説		
8	【授業単元】循環器系の疾患 【授業形態】講義・演習 【到達目標】 単体病名の正確な分類とサマリーの読解と正確な分類			【評価について】 評価は筆記試験で行う。小テストを40点とし、定期試験を60点、合計100点満点で評価する。評価は学則規定に準ずる			
【特記事項】							

科目名 (英)	事例検討 (Case Study)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	前期 木曜日 4限
【授業の学習内容と心構え】 都内の病院で長く医事業務を担当した教員が、現場の様々な事例をもとに解決策・対処法をディスカッションしていきたい。医療業界に飛び込む上で役立てていけるような演習にしてください。学生が主体となって積極的に考察・発言していくことに期待している。できる限りグループ討議を交えた授業にしていきたい。討議を交えたものも織り込んでいきたい。							
【到達目標】 医療業界に就職しても困らない知識・思考力・行動力を身につけ、しっかりと自分の意見・考えを伝えられるようにする。							
【使用教科書・教材・参考書】 スライドと毎回プリント・資料を配布する				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 オリエンテーション 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 授業の進め方を理解する 病院等で起こりうる事例を用いて、原因と対策を討議しながら解決策を考えていく			9	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・診察の待ち時間について		
2	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 演習 【到達目標】 病院等で起こりうる事例を用いて、原因と対策を討議しながら解決策を考えていく			10	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・電話対応について		
3	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 病院等で起こりうる事例を用いて、原因と対策を討議しながら解決策を考えていく			11	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・診察の待ち時間について		
4	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 演習 【到達目標】 実習に向けて最近の医療機関事情 ・患者登録の誤り			12	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・会計について		
5	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・会計の待ち時間について			13	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・入院費、室料差額について		
6	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・会計の誤りについて			14	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・入院中の私物の紛失について ・処方せんの紛失について ★全体のまとめと今後の医療機関の展望		
7	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・保険証を忘れてきたときの対応など			15	【授業単元】 事例検討 【授業形態】 講義 【到達目標】 ★定期試験を実施		
8	【授業単元】 事例検討まとめ 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・紹介状を持っていない時の対応など			【評価方法について】 授業内容は適宜追加・変更することがある 評価は出席とレポート提出及び定期試験で行う。 ・小テストは実施しないが、出席15回と毎回のレポート提出で評価(40点)する。 ・定期試験(60点)は筆記で行う。 評価は、学則規程に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	卒業研究 Thesis	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90時間 (6)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜日 3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 社会医学の研究者兼コンサルタントとして医療に関わる講師が指導を行う。研究のプロセスを体験することで、卒業現場で求められるExcel、Word、Powerpoint、Canva、ChatGPT等のPC操作能力と論理的思考力、表現力の向上を目指す。なお、本授業は国際バカロレア課程「探究と表現」をベースとして行う。なお、本授業はグループ形式で行うため、チーム間で協力し、課題制作を行う必要がある。							
【到達目標】 研究成果を7分程度で発表することができる 卒業論文を、2000字程度で書くことができる							
【使用教科書・教材・参考書】 都度授業プリントを配布する				【授業外における学習】 進捗によっては、自宅での学習が必要になることがある			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる			9	【授業単元】 卒業論文の作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 卒業論文を、2000字程度で作成できる		
2	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる			10	【授業単元】 卒業論文の作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 卒業論文を、2000字程度で作成できる		
3	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる			11	【授業単元】 卒業論文の作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 卒業論文を、2000字程度で作成できる		
4	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる			12	【授業単元】 卒業論文の作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 卒業論文を、2000字程度で作成できる		
5	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる			13	【授業単元】 卒業論文の作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 卒業論文を、2000字程度で作成できる		
6	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる			14	【授業単元】 卒業論文の作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 卒業論文を、2000字程度で作成できる		
7	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる			15	【授業単元】 卒業論文の作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 卒業論文を、2000字程度で作成できる		
8	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる			【評価方法について】 発表資料:40点 卒業論文:60点			
【特記事項】							

科目名 (英)	卒業研究 Thesis	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務専科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	90時間 (6)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜日 3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 社会医学の研究者兼コンサルタントとして医療に関わる講師が指導を行う。研究のプロセスを体験することで、卒後現場で求められるExcel、Word、Powerpoint、Canva、ChatGPT等のPC操作能力と論理的思考力、表現力の向上を目指す。なお、本授業は国際バカロレア課程「探究と表現」をベースとして行う。なお、本授業はグループ形式で行うため、チーム間で協力し、課題制作を行う必要がある。							
【到達目標】 研究成果を7分程度で発表することができる 卒業論文を、2000字程度で書くことができる							
【使用教科書・教材・参考書】 都度授業プリントを配布する				【授業外における学習】 進捗によっては、自宅での学習が必要になることがある			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
16	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる			24	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる		
17	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる			25	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる		
18	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる			26	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる		
19	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる			27	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる		
20	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる			28	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる		
21	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる			29	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる		
22	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる			30	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる		
23	【授業単元】 発表準備 【授業形態】 演習 【到達目標】 研究成果発表に向けた資料を作ることができる			【評価方法について】 発表資料:40点 卒業論文:60点			
【特記事項】							

科目名 (英)	卒業研究 Thesis	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務専科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	90時間 (6)	開講区分 曜日・時間	後期 月曜日 3時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 社会医学の研究者兼コンサルタントとして医療に関わる講師が指導を行う。研究のプロセスを体験することで、卒後現場で求められるExcel、Word、Powerpoint、Canva、ChatGPT等のPC操作能力と論理的思考力、表現力の向上を目指す。なお、本授業は国際バカロレア課程「探究と表現」をベースとして行う。なお、本授業はグループ形式で行うため、チーム間で協力し、課題制作を行う必要がある。							
【到達目標】 研究成果を7分程度で発表することができる 卒業論文を、2000字程度で書くことができる							
【使用教科書・教材・参考書】 都度授業プリントを配布する				【授業外における学習】 進捗によっては、自宅での学習が必要になることがある			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
31, 32	【授業単元】 卒業論文の作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 卒業論文を、2000字程度で作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
33, 34	【授業単元】 卒業論文の作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 卒業論文を、2000字程度で作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
35, 36	【授業単元】 卒業論文の作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 卒業論文を、2000字程度で作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
37, 38	【授業単元】 卒業論文の作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 卒業論文を、2000字程度で作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
39, 40	【授業単元】 卒業論文の作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 卒業論文を、2000字程度で作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
41, 42	【授業単元】 卒業論文の作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 卒業論文を、2000字程度で作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
43, 44	【授業単元】 卒業論文の作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 卒業論文を、2000字程度で作成できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
45	【授業単元】 卒業論文の作成 【授業形態】 演習 【到達目標】 卒業論文を、2000字程度で作成できる				【評価方法について】 発表資料:40点 卒業論文:60点		
【特記事項】							

科目名 (英)	秘書検定 (Secretary Official Approval Measures Lecture)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・コース	医療事務総合学科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30時間 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 木曜日 2限
【授業の学習内容と心構え】 専門学校・大学・企業において、長年にわたり秘書検定対策講座を担当してきた教員が、秘書検定合格を目標に「社会人としてとして通用する知識と技能を習得する」ための授業を行う 「絶対合格する」という気持ちで授業に臨んでほしい							
【到達目標】 社会人に必要なマナーや知識を習得し、秘書検定3級・2級に合格する							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
秘書検定3級実問題集、秘書検定2級実問題、プリント資料				要点整理ノートを作って復習することが望ましい			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 秘書検定について 【授業形態】 講義 問題演習 【到達目標】 秘書検定を受験する意味を理解する 過去問題を解き、検定のイメージをつかむ 合格基準を知る			9	【授業単元】 過去問題・練習問題 解答解説 【授業形態】 講義 問題演習 【到達目標】 不正解だった問題の「何がわからなかったのか」を特定し、弱点を克服することができる		
2	【授業単元】 秘書に必要とされる資質 【授業形態】 講義 問題演習 【到達目標】 秘書に必要とされる資質と能力について説明できる 秘書に必要とされる資質と能力に関する問題を解くことができる			10	【授業単元】 過去問題・練習問題 解答解説 【授業形態】 講義 問題演習 【到達目標】 不正解だった問題の「何がわからなかったのか」を特定し、弱点を克服することができる		
3	【授業単元】 職務知識 【授業形態】 講義 問題演習 【到達目標】 秘書の役割と機能について説明できる 秘書の職務について説明できる 秘書の役割と機能、秘書の職務に関する問題を解くことができる			11	【授業単元】 過去問題・練習問題 解答解説 【授業形態】 講義 問題演習 【到達目標】 不正解だった問題の「何がわからなかったのか」を特定し、弱点を克服することができる		
4	【授業単元】 一般知識 【授業形態】 講義 問題演習 【到達目標】 企業と経営・企業の活動について基礎知識を習得する 社会常識としての基礎用語について説明できる 一般知識に関する問題を解くことができる			12	【授業単元】過去問題・練習問題 解答解説 【授業形態】 講義 問題演習 【到達目標】 不正解だった問題の「何がわからなかったのか」を特定し、弱点を克服することができる		
5	【授業単元】 マナー・接遇 【授業形態】 講義 問題演習 【到達目標】 尊敬語と謙譲語の使い分けができる 正しい接遇用語の使い方について説明できる 敬語に関する問題を解くことができる			13	【授業単元】 模擬問題 解答解説 【授業形態】 講義 問題演習 【到達目標】 合格基準を超える解答ができる		
6	【授業単元】 マナー・接遇 【授業形態】 講義 問題演習 【到達目標】 電話の受け方・かけ方・取り次ぎ方について説明できる 交際のマナーについて説明できる 電話応対と交際業務に関する問題を解くことができる			14	【授業単元】 模擬問題 解答解説 【授業形態】 講義 問題演習 【到達目標】 合格基準を超える解答ができる		
7	【授業単元】 技能 【授業形態】 講義 問題演習 【到達目標】 文書の作成と取り扱い方について説明できる 日程管理とオフィス管理について説明できる 文書、日程・オフィス管理に関する問題を解くことができる			15	【授業単元】 定期試験 解説 【授業形態】 講義 【到達目標】		
8	【授業単元】 中間試験 解説 【授業形態】 【到達目標】			【評価について】 評価は中間試験(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 評価は学則規定に準ずる。			
【特記事項】							

科目名 (英)	医療情報の標準化と活用 (Standardization and inflection of the medical information)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 4時限
学科・専攻	医療事務総合学科						
【授業の学習内容と心構え】 専門学校において15年以上教員経験があり、コンピュータシステム開発経験を有する教員が、医療情報の適切な対処ができるようになるための標準化と活用方法について習得する授業を行う。							
【到達目標】 1. 医療情報基礎知識検定試験の第7章 医療情報の標準化と活用に関する問題が解答できる。							
【使用教科書・教材・参考書】 『医療情報の基礎知識』(南江堂)				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 医療情報の標準化 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・標準化に対する一般知識について説明できる 標準化の定義、分類、関連組織 ・医療情報に関する標準化について説明できる ・医療情報分野の標準化関連組織について説明できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 医療情報の標準化 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・標準化関連組織間の連携について説明できる ・主要な医療情報の規格－用語・コードを説明できる ・主要な医療情報の規格－メッセージ（データ）交換規約について説明できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 情報の分析と評価 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・データの尺度について説明できる 名義尺度、順序尺度、間隔尺度 ・データ（変数）の性質について説明できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 情報の分析と評価 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・データの図示（グラフ）による記述について説明できる 円グラフ、棒グラフ、積み上げ棒グラフ、帯グラフ 折線グラフ、レーダーチャート、ヒストグラム 箱ひげ図、散布図（相関図）				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 問題演習 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・過去問題演習				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 問題演習 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・過去問題演習				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 問題演習 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・過去問題演習				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・定期試験				【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。		
【特記事項】							

科目名 (英)	医療情報 基礎知識検定対策Ⅰ (Medical information basic knowledge official approval measuresⅠ)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分	後期 火曜日 2時限
【担当教員紹介と授業の学習内容・心構え】 医療事務としての実務経験を有し、社会人教育や専門学校において15年以上の指導経験を有する講師が、医療情報基礎知識検定合格に向けての対策授業を行う。試験範囲のうち、Ⅰ 医療制度と医療関連法規、Ⅱ 病院業務と病院の運営管理、Ⅲ 医療情報の特性と医療の情報倫理の分野を対象とする。問題演習を中心に、1年次から2年次前期までに複数の科目にわたり学習してきた内容の整理と定着を目指す。医療情報基礎知識検定対策Ⅱと併せて、本検定の範囲を網羅する。							
【到達目標】 Ⅰ 法規、Ⅱ 管理、Ⅲ 情報、3分野で85%以上の得点を目指す。 医療情報基礎知識検定に合格する。							
【使用教科書・教材・参考書】 『医療情報の基礎知識 改訂第2版』(南江堂)				【授業外における学習】 繰り返し過去問を解いて、暗記を定着させること			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】Ⅰ. 医療制度と医療関連法規 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医療関連法規の問題に正答できる ・保険医療福祉制度と行政組織、専門職の問題に正答できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】Ⅰ. 医療制度と医療関連法規 【授業形態】演習 【到達目標】 ・保健医療福祉専門職の種類と責務の問題に正答できる ・健康指標と予防医学の問題に正答できる ・救急医療と災害時医療の問題に正答できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】Ⅱ. 病院業務と病院の運営管理 【授業形態】演習 【到達目標】 ・病院における診療体制と業務の問題に正答できる ・診療の課程の問題に正答できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】Ⅱ. 病院業務と病院の運営管理 【授業形態】演習 【到達目標】 ・病院の運営と管理の問題に正答できる ・安全で適切な医療の問題に正答できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】Ⅲ. 医療情報の特性と医療の情報倫理 【授業形態】演習 【到達目標】 ・診療記録の種類と保存期間の問題に正答できる ・医療情報の特性と利用の問題に正答できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】Ⅲ. 医療情報の特性と医療の情報倫理 【授業形態】演習 【到達目標】 ・医の倫理の問題に正答できる ・医療の情報倫理の問題に正答できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】問題演習と解説 【授業形態】演習 【到達目標】 ・Ⅰ～Ⅲまでの問題を解き、85%以上得点できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】定期試験・解答解説 【授業形態】演習 【到達目標】				【評価方法について】 ・小テスト(40点)、定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。 ・小テスト及び定期試験は筆記試験で行う。 ・授業で習得した専門的な知識の理解度、定着度を確認する。 ・小テストは、第6回と第7回に各2回分、計4回実施する。 ・評価は学則規定に準ずる。		
【特記事項】 1年次の医療法規、病院管理、2年前期の医療情報で配布した資料を参照する							

科目名 (英)	医療情報 基礎検定対策Ⅱ (Medical information basic knowledge official approval measures Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	
学科・専攻	医療事務総合学科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	15時間 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 水曜日 1時限
【授業の学習内容と心構え】 専門学校において10年以上教員経験があり、コンピュータシステム開発経験を有する教員が、医療情報基礎知識検定試験の第4章コンピュータの基礎、第5章情報システムの基盤技術、第6章医療情報システムの構成と機能について、検定対策授業を行う。							
【到達目標】 1. 医療情報基礎知識検定試験の過去問題が解答できる。							
【使用教科書・教材・参考書】 『医療情報の基礎知識』(南江堂)				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・ 医療情報基礎知識検定の過去問題を行い、正解率70%以上で解答できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
2	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・ 医療情報基礎知識検定の過去問題を行い、正解率70%以上で解答できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
3	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・ 医療情報基礎知識検定の過去問題を行い、正解率70%以上で解答できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
4	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・ 医療情報基礎知識検定の過去問題を行い、正解率70%以上で解答できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
5	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・ 医療情報基礎知識検定の過去問題を行い、正解率70%以上で解答できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
6	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・ 医療情報基礎知識検定の過去問題を行い、正解率70%以上で解答できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
7	【授業単元】 検定対策 【授業形態】 演習 【到達目標】 ・ 医療情報基礎知識検定の過去問題を行い、正解率70%以上で解答できる				【授業単元】 【授業形態】 【到達目標】		
8	【授業単元】 定期試験・解答解説 【授業形態】 講義・演習 【到達目標】 ・ 定期試験				【評価方法について】 評価は、筆記試験で行う。授業で習得した知識の理解度、定着度を確認する。筆記試験は、小テスト(40点)と定期試験(60点)の合計100点満点で評価する。評価は、学則規定に準ずる。		
【特記事項】							